

平成29年度スクールプラン

(様式)

平成29年度学校教育目標		知・徳・体の調和のとれた、心豊かで、学校や地域を愛し、自主自立の精神に満ちた生徒の育成				北九州市立 穴生 中学校		
本年度の重点		4～8月 第1期 中間評価		～12月 第2期 中間評価		年度末評価		
達成目標(本年度のゴール)		取組状況		取組状況		達成目標の評価と次年度の方向性		
関する向上取組	<p>【授業改善①】 ○「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う(質53)」において、生徒が肯定的な回答をする。(90%)</p> <p>【授業改善②】 「授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う(質49)」の肯定的回答をする。(80%以上)</p>	<p>○管理職や学力向上推進教員等が授業に積極的に関わり、若年層を中心に教科を越えた人材育成を行う。 ○学期末にアンケートをとり、生徒の学びの実態を把握するようにする。</p> <p>○各教科で一単元の授業の中に、アクティブラーニングを取り入れ、生徒が自分の意見を語ることができ、他の生徒の意見を認める学級の雰囲気醸成し、コミュニケーション能力の育成を図る。</p>	<p>○若年教師を中心に研究授業を行い、まとめを意識しためあての提示に取り組んだ。</p> <p>○アクティブ・ラーニングを取り入れ、生徒の思考力と表現力をはぐくむ取組を行った。 ○研究授業と協議会を全職員で行い、対話的な活動の指導法や生徒につける力について理解を深めた。</p>	<p>○まとめを意識しためあてを提示することで、指導法に改善が見られた。学習調査で「授業の中で、目標を確認し、めあてを意識しながら授業に取り組めた」の肯定的回答が90%であった。 ○生徒が主体的に取り組む場面が多く見られるようになってきた。 ◆発問を焦点化して、生徒が話し合い活動が活発に行えるように、教材研究を行う必要がある。</p>				
	<p>【補充学習】 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか(質33)」で肯定的回答をする。(80%以上)</p>	<p>○放課後、自主学習が行えるように図書室を開放し、自主的に学習する習慣の定着を目指す。</p> <p>○定期考査の内容検討と工夫改善を行う。</p> <p>○授業改善に向けた研修を実施して授業力向上に取り組む、生徒がわかったと実感できる授業を目指す。</p>	<p>○放課後、自主学習を行う自習室を開放し、家庭学習につなげる取組を行った。 ○定期考査に思考力を問う問題を必ず入れ検証を行う。 ○学力向上研修を1学期と夏休みに実施し、授業力向上に取り組んだ。</p>	<p>○自習室を多くの生徒が利用し、意欲の向上につながった。 ◆学習アンケートを実施し、生徒の要望を考慮して、自習室の利用生徒の増加と家庭学習習慣の定着に向けて改善と取組を行う。</p>				
	<p>【自主的な学習】 ○「自分で計画を立てて勉強をしている(質21)」で生徒が肯定的回答をする。(50%)</p> <p>○「学校の宿題をしている(質22)」で生徒が肯定的な回答をする(85%)</p>	<p>○各教科で、定期考査に向けて家庭学習の方法や手順を指導する。 ○定期考査前に学習計画表を作成し、計画の立て方を指導する。</p> <p>○宿題の点検を行うなど、各教科で宿題や課題に積極的に取り組むように指導し、評価していく。 ○保護者会等で家庭学習の状況を把握し、保護者と学校が協力して学習環境づくりに取り組む。</p>	<p>○各教科で考査に向けた学習方法について指導を行った。 ○学習計画表を作成し、計画の立て方の指導を行った。</p> <p>○基礎的・基本的な学力の定着を図るため、各教科で連携し、家庭学習の課題を課した。</p>	<p>○学期末の学習調査で「計画的に学習することができた」の肯定的回答が73%であった。 ○自主的な参加を呼びかけて質問教室を実施し、学年の実態に合わせて、授業や個別の質問の対応や学習方法の助言などを行った。 ◆「家庭学習のすすめ」を作成し、保護者と連携しながら家庭学習を定着させる取組を行っていきたい。</p>				
	<p>【持久力・基礎体力の向上】 ○1校1取組として、年間を通して体育の授業の準備運動で5分間走を取り入れ、体力向上につなげる(100%)</p>	<p>○新体カテストを全学年・全種目適切に実施する。また、各自の記録を伸ばすべく、全力を尽くすよう、指導する。 ○体育授業の準備運動では、持久力を高めるランニングや筋力を高めるジャンプアップ運動等を行うようにする。また、20分間以上運動する時間を確保し、体力の向上を図る。</p>	<p>○新体カテストは、全学年・全種目において実施した。また、学習ノートを作成し、記録向上のコツを示した。 ○体育の授業では、腹筋・背筋・5分間走・倒立を毎時間実施している。</p>	<p>○学習ノートで予習や練習に意欲をもって、体力テストに取り組む生徒の姿が多く見られた。 ◆実施時期を事前に計画し、十分な取組が行えるようにする。</p>				
関する向上取組	<p>【授業改善】 「体育の授業は楽しい(質17)」の肯定的回答を80%以上</p>	<p>○毎時間の体育の授業で、生徒のモチベーションを高めるため、小集団による自主的な活動を取り入れ、生徒が自主的に活動する場面を増やしていく。 ○汗をかく体育授業を実践し、体を動かす喜びが実感できるようにするとともに、生徒一人一人に達成感が得られる授業展開の工夫を行う。 ○学習の流れやゴールを明確にした学習ノートを作成し、思考力の向上、指導と評価の一体化を目指す。</p>	<p>○集団行動や体づくり運動の学習では、リーダーを中心に学び合う活動を行った。</p> <p>○集団行動・体力テスト・水泳の3単元で学習ノートを作成し、毎時間の評価をおこなった。</p>	<p>○生徒が積極的に話し合いや声かけを行い、学習成果を向上させていくことができた。</p> <p>◆自己の振り返りがしっかり行える学習ノートを作成し、さらに意欲的に活動する生徒を育成していく。</p>				
関する育ち取組	<p>【授業改善(道徳)】 ○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」において、生徒が肯定的な回答をする。(95%)</p>	<p>○道徳の授業に考える・論議するなど問題解決的な内容を取り入れ、生徒同士の人間関係も構築していく。 ○人権に関する内容を多く取り入れることで、生徒に思いやりの心を育てていく。 ○スクールカウンセラーと連携し、自殺防止教育を行う。</p>	<p>○道徳の授業に問題解決的な内容を取り入れて、学級担任を中心に学級経営に力をいれて取り組んだ。 ○平和に関する学習を2回実施し、他者を思いやる心の育成を図った。</p>	<p>○平和に関する学習(八幡大空襲)を通して、平和への感謝と地域への関心と愛着につながった。</p>				
	<p>【授業改善②】 「自分には、よいところがあると思う(質6)」の肯定的回答をする。(70%以上)</p>	<p>○学級活動や体育大会、宿泊行事等で、自尊感情を高める取組を行い、その活動についてしっかり評価する。 ○取り組んだ活動をお互いに認め合える集団の育成を目指す。</p>	<p>○各学年生徒の実行員を中心とした取組を実践し、反省と課題を明確にして日々の学校生活に活かすように活動した。</p>	<p>◆生徒会活動を中心に生徒が主体的に取り組む活動を計画的に取り入れ、全ての教育活動が運動していくように計画・実行していく必要がある。</p>				
関する取組	<p>※達成目標を以下の教職員の学校自己評価の質問内容に対する回答をした割合とする。 【授業力向上】 ○「授業改善に向けて日々の授業改善に取り組んだ」の肯定的回答を90% ○「学力向上に向けて組織的に取組を進めた」の肯定的回答を85%</p>	<p>○授業改善と学力向上の取り組みを学校挙げて推進するため、年間3回の研究授業を実施し、全職員参加による協議会を併せて実施する。</p> <p>○学力向上推進教員のモデル授業を基に、全職員でワークショップ型の研修を行い、自らの授業を振り返ることで授業力の向上を図る。</p> <p>○スクールプランの目標を達成するために、全国学力状況調査の分析を行い、定期的にPDCAサイクルに取り組む。</p>	<p>○アクティブ・ラーニングの視点をとり入れた研究授業及び、研究協議会を行い、アクティブ・ラーニングについての理解が深まった。</p> <p>○学習アンケート(家庭学習・各教科)を実施し、検証を行って二学期の取組につなげる。</p>	<p>○主体的な生徒を育むために必要な指導法や授業改善を目指して、対話的な活動の実践方法やこれからの学校で統一した取組に向けて活発な意見交換が行えた。 ○協議会を通して、他教科の特性や課題を理解し、全体で目指す生徒の育成に向けて考えることができた。 ◆穴生中スタンダードを作成し、「学級経営・学習・生徒指導」で全職員が共通認識のもと指導を行えるようにする。</p>				